



ログの可視化、統合管理で 最新の技術・製品情報を漏洩から守る

容器の総合メーカー
武内プレス工業株式会社

快速サーチャーLogReviでLanScope Cat、Lotus Notesのログを統合管理
アルミ加工技術を元にしたアルミチューブ、アルミアゾール缶、フェルト缶の製造で業界トップシェアの武内プレス工業。新製品などの機密情報の漏洩を防ぐため、快速サーチャーLogReviを導入し、LanScope Cat および Lotus Notes のアクセスログの統合管理に取り組んでいる。

武内プレス工業株式会社 管理本部システム室長 **寺崎 浩信氏**

社員や部門ごとに特定キーワードを含むデータを抽出するなどの作業がとて簡単になりました。ログをグラフ化してから、気になったところだけ詳細を確認することもできるので大変便利です。課題となっていたキーワードの抽出作業、レポート作成に要する時間は飛躍的に短縮し、労務費削減、業務効率化という点でも高い導入効果がありました。今後はLotus Notesのログも併せた統合ログ管理で情報漏洩対策をさらに強化していきたいと考えています。



各システムに散在するログを統合管理、様々な角度から検索、レポートすることが可能。

タイムラインビュー
複数ログを閲覧するためのビューアで、テレビ番組表のようにログを横に並べて見ることができる。

高速検索
1500万レコード/秒の検索スピードを誇る検索エンジンを搭載、インシデント発生時の速やかな原因特定を実現。

柔軟性の高いログ取り込み
●Windowsイベントログ、シスログに標準対応
●LanScope Cat専用のオプションを用意
●各種ログを取り込むためのオプション「定義エディタ」により、お客さま独自のログも取り込みが可能。

最新技術・製品情報を守れ

武内プレス工業の工場では、生産設備の設計から据付までほとんどを社内技術スタッフが行う。その背景にあるのが、他社の追随を許さない高いアルミ加工技術と独自の製品企画力だ。近年目にするのが多くなった、再検査可能なオールアルミの飲料缶も同社の開発である。

多くの特許を取得し、常に「新しい物」を追求する同社だけに、開発中の新製品や図面、CADデータなど新製品に関する機密情報の管理にはとくに注意を払っている。

同社は2003年、従業員用のパソコン(PC)が増加したことを機に、各工場のPCの最適な配置と情報漏洩防止を目的にLanScope Catを全社に導入した。LanScope CatではIT資産管理とクライアントPCのログ取得の両方を行うことができる。

ログ分析時間 1週間から1時間に

「機密情報の保存場所は正しいか」「USBメモリなどに不正に書き込んでいないか」など、同社では情報漏洩に関連するキーワードを軸にログの検索を行ってきた。ところが、LanScope Catで得られる大量のCSVファイルと

ポットが管理者を悩ませることになった。機密情報にアクセスした社員を特定するにはキーワードによる抽出作業を繰り返す必要があるが、統計的なものが多いLanScope Catのレポートは不向きだったからだ。

このような状況を改善するため、LanScope Catと親和性が高く、検索のしやすさとログの見やすさに定評のある快速サーチャーLogRevi(以下、ログレビ)の導入を決定した。インテックのログレビは社内の各システムに散在するログを統合管理し、様々な角度で検索、見やすくレポート化することができる統合ログ管理製品である。

2009年のログレビの導入後、キーワードの抽出作業やレポート作成に要する時間は大幅に短縮した。これまで1週間かかっていた作業は約1時間になり、労務費削減、業務効率化という観点でも高い導入効果があった。

効果的なログ検索には 社内情報の収集も

ログの効率的な検索には、普段から社員の仕事の様子を知っておくことも重要と話すのは管理本部システム室の寺崎浩信室長。部門長との何気ない会話から、「PCがあまり使われていないよ」「などの情報が得られることもある。LanScope Catから送信されるアラ

ムがいつもより多いなど、気になった時にログレビで検索をするが、普段のPCの使われ方や社員の情報資産に対するリテラシーの程度を知っているかどうかで検索の仕方にも大きな違いがあるという。「定期的なレポートのチェックに加え、普段からの情報収集とログ検索の習慣づけが漏洩事故を防ぐコツ」と、寺崎室長は話す。

Lotus Notesのログも加え さらに細かく分析

ログレビの導入によってログをいつでもチェックできる環境が整った。現在はさらにLotus Notes(以下、Notes)のログも加えた統合管理への取り組みが始まっている。

1997年のNotes導入以来、同社では10年以上にわたって売上や得意先などの重要情報をNotes上に蓄積している。今後はNotesのログもログレビに取り込み、LanScope Catのログと突き合わせることで、より詳細に操作記録を分析する。「この社員がいつPCを起動しログインしたか、誰にメールを送った、Notes上のどのデータベースのどの情報にアクセスしたか」ということがログレビのタイムラインビューで簡単に確認できるようになるわけだ。これによって、より強固な情報漏洩対策を効率的に実施できると期待されている。

武内プレス工業株式会社

- 代表取締役社長 / 武内 繁和
- 本社 / 富山市上赤江町1-10-1

http://www.takeuchi-press.co.jp/

1873年(明治6年)の創業以来、包装容器の総合メーカーとしてさまざまなアルミ容器を製品化し、アルミチューブ、アルミアゾール缶、フェルト缶において国内トップシェアを誇る。「武内プレス工業の歴史=日本のアルミ容器の歴史」と言われるほど、アルミ加工において高い技術力を持つ。2000年に開発したオールアルミのネジ付き飲料缶は、大手飲料メーカーにも採用され、リサイクルの観点からも注目されている。

